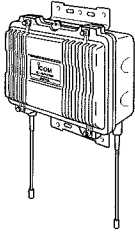


デジタル特定小電力IPレピータ
IC-D401RP

[IEEE802.3af]規格PoE対応



- 1. ご使用の前に
- 2. 設置と接続のしかた
- 3. 通信を確認する
- 4. ご参考に

本製品は、JIS保護等級4(防まつ形)相当に対応する防水性能があります。
電源注上、分解や改造は禁止されていますので、本製品本体のケースを絶対に開けないでください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、デジタル特定小電力トランシーバー^{※1}用の中継装置です。
IP網に接続できますので、本製品どうしてネットワークを構築^{※2}することで、通話エリアが拡大します。
また、屋外に設置^{※3}できますので、安定して電波が受信できる環境でご使用いただけます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

※1 本製品は、IC-D400(デジタル特定小電力トランシーバー)以外の中継装置として使用できません。
(2007年3月現在)

※2 ネットワークの構築には、IPレピータ集中管理サーバ^{※4}が必要です。
本書で記載するIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)とは、IPレピータ集中管理ソフトウェアがインストールされたサーバを意味します。
※3 JIS保護等級4(防まつ形)相当に対応する防水性能があります。
※設定や初期化には、専用ソフトウェアが必要ですので、お買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にご依頼ください。

電波法上のご注意

- 使用できるのは、日本国内に限られています。
- 特に他局の通信を妨害したり、通話の内容を他に漏らし、これを盗用することは、かたく禁じられています。
- 分解や改造して使用することは、かたく禁じられています。

取り扱い上のご注意

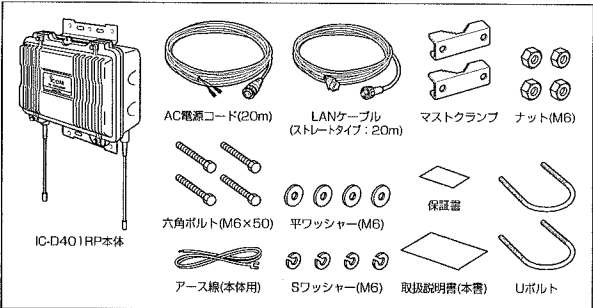
- 本製品には、温度ヒーターが内蔵されています。
-20℃～0℃の環境に設置後、すぐにご使用を開始されますと、本来の性能が発揮されません。
本体電源投入後、温度ヒーターで内部が暖まるまで通電(1時間以上)してから、通電を開始していただくようお願いいたします。
- パソコンやその他の周辺機器の取り扱い、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- 本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
- このようなときは、妨害を受けている機器からできるだけ本製品をはなしてご使用ください。
- 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、iCOWは、アイコム株式会社の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

はじめに

標準構成品 (本製品には、下記のものと同梱しています。)



おもな別売品について

(2007年3月現在)

■ SA-3 : イーサネット電源供給ユニット



○非常用(バッテリー^(※Pill))を本製品に内蔵してご使用の場合、SA-3、またはIEEE802.3af規格対応のHUBから供給される電源を使用して充電できません。
○SA-3、またはIEEE802.3af規格対応のHUBを使用する場合、本製品の使用温度範囲は、0℃～+60℃になります。
○弊社製のSA-2、SA-2(A)は、本製品に使用できません。

■ IPレピータ集中管理サーバ

本製品をIP網に複数台接続してシステムを構築する場合は、IPレピータ集中管理ソフトウェアがインストールされたサーバをシステムに1台だけご用意ください。

はじめに

はじめに

もくじ

はじめに	i	3.通信を確認する	8
安全上のご注意(必ずお読みください。)	iv	■ 1台だけで使用する場合	8
1.ご使用の前に	1	■ IP網と接続する場合	9
1-1.適用形態について	1	■ IP網との接続について	10
■ 本製品を1台だけで使用する場合	1	4.ご参考	11
■ 本製品をIP網と接続する場合	1	■ 周波数一覧表	11
1-2.各部の名称と機能	2	■ 出回時の設定について	11
1-3.PoE機能について	3	■ SA-3と本製品の接続について	12
2.設置と接続のしかた	4	■ 故障のときは	13
■ 設置工事について	4		
■ 着番対策について	4		
■ アンテナの取り扱いについて	4		
■ 正しくお使いいただくために	4		
■ 設置場所について	5		
■ 本製品のアースについて	5		
■ アース線の使用について	5		
■ AC電源コードの接続	6		
■ LANケーブルの接続	6		
■ 本体を固定するには	7		

停電中の動作について

- 出荷時の状態では、非常用バッテリーを内蔵していませんので、停電すると使用できません。
停電したときにも動作できるように、予備電源として非常用バッテリーを本製品に内蔵できます。
- 非常用バッテリーの装着をご希望の場合は、下記の制限事項を考慮してご検討ください。
 - 使用温度範囲(停電中) : 0℃～+40℃
 - 稼働時間(停電中) : 約4時間(+25℃)
 - 充電時間(装着時) : 約12時間(+25℃)
- ※SA-3(弊社別売品)、またはIEEE802.3af規格対応のHUBで電源供給している場合は充電できません。
- 電波法上、分解や改造は禁止されていますので、お客様自身で本製品本体のケースを絶対に開けないでください。
- 非常用バッテリーのご購入と装着については、お買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にご依頼ください。

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用いただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

△危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

- △引火性ガスの発生する場所への設置や使用は絶対にしないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

△警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- △指定以外の電源で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- △雷が降り出したら、機器やアンテナ線、AC電源コードには、絶対にさわらないでください。
感電事故の原因になります。
- △人の通行をさまたげる場所には、設置しないでください。
本製品に接触したり、倒れたりしてけがの原因になります。
- △強度の不足する場所には、設置しないでください。
振動や風などの影響を受けて落下し、けがや故障の原因になります。
- △本製品を使用中は、ぬれた手で本製品に触れないでください。
感電の原因になります。
- △設置するときは、アース工事がされていない部材に本製品を固定しないでください。
感電の原因になります。
- △送電線や配電線の近くには、設置しないでください。
本製品のケーブルなどが送電線や配電線に接触して、ショートや発熱により感電や火災の原因になります。
- △指定以外の付属品や市販品、および別売品は使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- △AC電源コードや接続ケーブル、アンテナの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- △AC電源コードや接続ケーブル、アンテナを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- △完全閉鎖していますので、分解、改造は、絶対しないでください。また、お客様自身で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- △万一、煙が出ていたり、変なにおいや音が出る、水などが入った場合は、使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- すぐに、本製品のAC電源コードとそのほかのケーブル類を取りはずしてください。
煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当に連絡してください。

△注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- △足場の不安定なところで、設置工事をしないでください。
倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- △テレビやラジオの近くで使用しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- △強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- △電源供給方法の違いによって、本製品の使用温度範囲が異なります。
下記の使用温度範囲を守らないと、故障の原因になることがあります。
- AC電源コードを使用時 : -20℃～+60℃
 - SA-3を使用時 : 0℃～+60℃
 - 非常用/バッテリーを使用時 : 0℃～+40℃
- △長時間、使用しないときは、安全のため電源から取りはずしてください。
発熱、発火、故障の原因になることがあります。
- △ぐらついたり、傾いたところなど、不安定な場所や腐食している部材に本製品を固定しないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。
- △落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
けが、故障の原因になることがあります。
- △強度の不足する部材(アンテナマスト、取り付け金具など)や腐食しやすい部材は使用しないでください。
本製品が落下したりして、けが、故障の原因になることがあります。
- △説明とは異なる接続をしないでください。
また、本製品への接続を間違えないように十分注意してください。
- △故障の原因になることがあります。
けが、感電、故障、電波障害の原因になることがあります。
- △本製品を分解しないでください。
- △近くに錆が発生したときは、本製品を電源から取りはずし、ご使用をお控えください。
本製品の導入や保守の作業などもしないでください。
火災、感電の原因になることがあります。
- △清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。
ケースが変質したり、塗料がはげる原因になることがあります。
普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませたふきんでください。

ご使用の前に

1

1-1.運用形態について

■本製品を1台だけで使用する場合

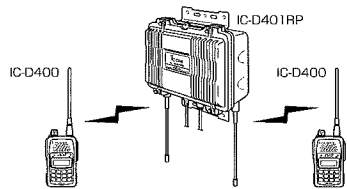
IP網と接続しない運用形態で、本製品をシステムに1台だけ使用します。

【本製品の設定状態について】

本製品に電源を供給したとき、[MONITOR(モニター)]ランプが青色で約5秒間点灯したあとに消灯する場合は、1台だけで使用する設定になっています。

※IP網と接続できません。

※本製品の設定には、専用ソフトウェアが必要ですので、お買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にご依頼ください。



■本製品をIP網と接続する場合

IP網と接続する運用形態で、本製品をシステムに2台以上使用します。

※下記の図は、構築例ですので、実際のシステムとは異なります。

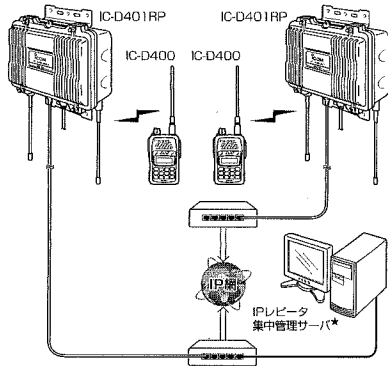
【IP網で使用する設定状態について】

△付属のLANケーブル(20m)を接続しない状態で、本製品に電源を供給したとき、[MONITOR(モニター)]ランプが青色で点灯している(点灯しない場合は、[ネットワーク音声通信モード]が設定されている状態)で、IP網と接続できます。

△本製品をIP網と接続したとき、ネットワーク上のIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)と正常に通信を開始すると、[MONITOR(モニター)]ランプは、青色で点灯します。

△点灯するときは、[ネットワーク音声通信モード]が設定されていますが、お買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にご依頼ください。

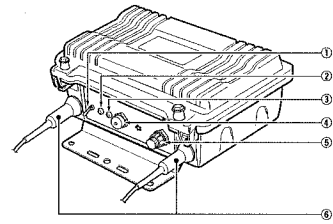
※本製品の設定には、専用ソフトウェアが必要ですので、お買い上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にご依頼ください。



★本製品を管理するために、システムに1台だけ必要です。
IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)とは、IPレピータ集中管理ソフトウェアがインストールされたサーバを意味します。

1 ご使用の前に

1-2.各部の名称と機能



①[POWER(電源)]スイッチ

本製品の電源スイッチです。

右図のように、スイッチを

手前に軽く引っ張りながら

操作すると、「ON」/「OFF」

できます。

●[POWER(電源)]ランプ(②)が点灯します。

②[POWER(電源)]ランプ

本製品の電源ランプです。

[POWER(電源)]スイッチが「ON」のとき、点灯します。

ランプの色は、電源供給の違いにより異なります。

青色点灯：[AC100V電源ソケット]から供給

緑色点灯：[LAN]ポートからSA-3(弊社別売品)、または

IEEE802.3af規格対応のHUBを使用

して供給

緑色点灯：停電中、非常用バッテリーを使用して供給

※非常用バッテリーについては、「停電中の

動作について」(※P11)をご覧ください。

③[MONITOR(モニター)]ランプ

青色点灯：[ネットワーク音声通信モード]で運用中、

約30秒以上、IPレピータ集中管理サーバ

と正常に通信できない状態がずっと続くとき

青色点灯：不具合により本製品を使用できないとき

緑色点灯：受信しているとき

緑色点灯：送信または受信しているとき

橙色点灯：[ネットワーク音声通信モード]が設定され

ているとき、および待ち受け状態のとき

橙色点灯：[ネットワーク音声通信モード]が設定され

ていないとき、および待ち受け状態のとき

橙色点灯：電源を入れたとき、IPレピータ集中管理サ

ーバ(※P11)と通信できないとき

④[LAN]ポート

付属のLANケーブル(20m)を使用して、HUBなどの

ネットワーク機器と接続します。

保護キャップを取りはずすと接続できます。

※本製品を出荷時の状態で、既存のIP網に接続しない

でください。

出荷時の状態で接続すると、既存のネットワーク機

器に割り当てられているIPアドレスと重複する可能

性があります。

※低速なHUBを本製品に接続した場合、意図しない動

作で通信に障害を与えることがありますので、必ず

100BASE-TX対応のスイッチングHUBをご使用く

ださい。

※本製品を1台だけで使用する場合は、本製品の

設定用、またはSA-3(弊社別売品)を使用して電源

を供給する以外の目的では接続できません。

※本製品の設定変更など、保守・点検などで、パソコン

の[LAN]ポートと直接接続するときは、クロス結

線された市販のLANケーブルをご使用ください。

⑤AC100V電源ソケット

付属のAC電源コード(20m)を使用して、単相100V

のAC電源を本製品に供給するソケットです。

保護キャップを取りはずすと接続できます。

※非常用バッテリーを使用している場合は、バッテリー

充電の電源に使用されます。

非常用バッテリーについては、「停電中の動作につ

いて」(※P11)をご覧ください。

⑥アンテナ

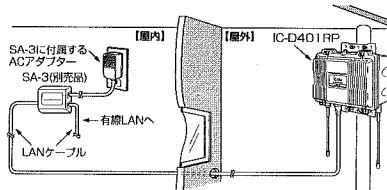
電波を発射、または受信する部分です。

※電波法により、取りはずしてはいけない構造になってい

ます。

1-3.PoE機能について

本製品と接続されたLANケーブルを利用して、本製品に電源を供給する機能です。
 本製品に付属のAC電源コードが近く範囲内にコンセントや[IEEE802.3af]規格対応のHUBがない場合に備えて、別売品のイーサネット電源供給ユニット(SA-3)をご用意しています。
 SA-3をお使いいただくことで、本製品の[LAN]ポートから電源供給できます。
 SA-3との接続について詳しくは、「■ SA-3と本製品の接続について」(P12)をご覧ください。
 ※[IEEE802.3af]規格対応のHUBで電源供給をする場合は、本製品に付属のAC電源コードやSA-3を接続する必要はありません。



1

■ 設置工事について

設置工事の際、建築物の破損、高所や足場の悪い場所での作業に伴う製品の落下やけがをすることによる損害、またその他どのような場合においても、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 なお、高所や足場の悪い場所に取り付ける必要がある場合は危険が伴いますので、必ず専門業者に相談ください。

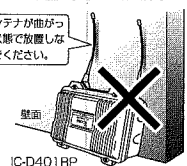
■ 避雷対策について

雷の多い地域でご利用になる場合は、電源用およびLAN用の雷保護装置[PWJ1100B-T](日辰電機製作所)などを本製品のAC電源コードおよびLANケーブルに使用になることをおすすめします。

■ アンテナの取り扱いについて

本製品のアンテナは、事故を防止するため曲がりにくい構造になっています。そのため、取り扱いには、下記の注意を守って設置工事をしてください。

- ①アンテナ部分を持って、本製品を持ち上げたり、アンテナを故意に曲げたりしない
- ②一時的な場合であっても、右図のような置きかたはしない
※置きかたが悪いと、アンテナが曲って戻らなくなります。



■ 正しくお使いいただくために

- 下記のことにご注意ください。
- ①本製品本体は、アンテナの先端が下を向くように設置してください。
本重(≒P7)に記載する以外の向きに設置すると、防水および電氣的な性能を低下させる原因になります。
 - ②本製品本体のケースは、絶対にお客様自身で開けないでください。
電波法上、分解や改造は禁止されています。
 - ③アンテナに塗装をしないでください。
塗料に含まれる金属成分の影響で電波が弱まり、十分な性能を発揮しなくなります。
 - ④本製品に接続されたAC電源コードやLANケーブルが、人に触れるおそれがない場所に固定してください。
 - ⑤本製品のAC電源コードやLANケーブルは、風などの影響を受けて大きく揺らされたり引っぱられたりすることがありますので、マストなどに固定してください。
※[IEEE802.3af]規格対応のHUBで電源供給をする場合は、本製品に付属のAC電源コードやSA-3を接続する必要はありません。

3

4

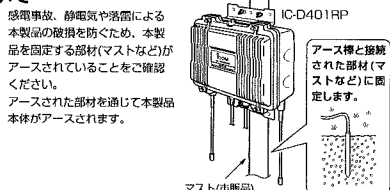
設置と接続のしかた 2

■ 設置場所について

設置条件によっては、通信範囲に影響します。
 設置条件は、次のとおりです。
 ①なるべく見通しが良く、本製品の上に物を掛けたりできない(高い)場所
 ②風雨が直接あたらない場所
 ③振動がなく、落下の危険がない安定した場所
 ④本製品どうしやほかの製品(TVアンテナ等)と近づきすぎない場所
 ⑤設置予定の位置から、相手方を結ぶ直線上に大きな障害物があったり、一時的な障害物の移動によって通信障害を起こすことがないような高い場所
 ⑥近くに強力な電波を放射する電波塔がない場所
 ⑦近くに倉庫などような金属製の外壁(電波が反射するおそれ)がない場所
 ⑧本製品とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大制限(100m)を超えないような場所
 ※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大制限より短くなる場合があります。

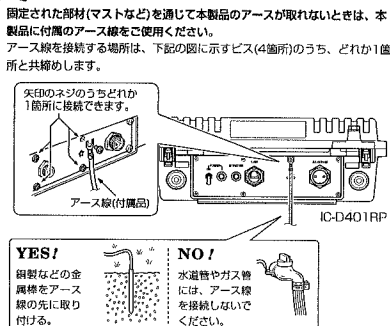
■ 本製品のアースについて

【ご参考】
 本製品をアースされていない部材に取り付ける場合は、本製品に付属のアース線(3m)をご使用ください。
 接続方法は、「アース線の使用について」をご覧ください。



■ アース線の使用について

【ご参考】
 本製品をアースされた部材に取り付ける場合、本製品に付属するアース線は必要ありません。



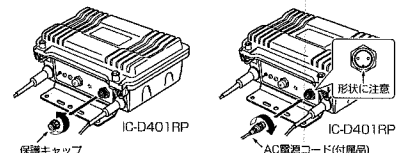
2

2 設置と接続のしかた

■ AC電源コードの接続

付属のAC電源コード(20m)は、本製品専用です。
 付属品以外の電源コードを使用したり、弊社指定以外の方法で電源供給をしないでください。

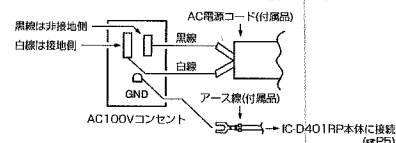
- ①[AC100V電源ソケット]の保護キャップを図の方向に回して取りはずします。
- ②AC電源コードのプラグを差し込んで、図の方向に回して固定します。



【ACコンセントへの接続】

【おことわり】
 一部の製品で、AC電源コード(付属品)の各線材に使用されている色が右図と異なる場合があります。
 その場合は、黒線を赤線、白線を黒線に読み替えてください。

ACプラグを付属していませんので、接続するACコンセントの形状に合わせて、ACプラグをご用意いただき、接続には十分ご注意ください。
 AC電源コードの各線材は、下記の接続例を参考にして、ご用意いただいたACプラグの端子に接続してから、ACコンセントに接続してください。

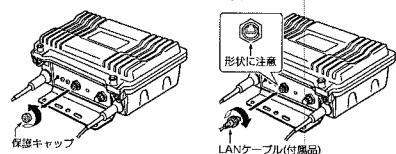


■ LANケーブルの接続

【ご参考】
 付属のLANケーブル(20m)は、本製品の設定変更など、保守点検に必要ですので、1台でご利用になる場合も接続されることをおすすめします。

付属のLANケーブル(20m)は、本製品専用です。
 保守点検などで、本製品をパソコンと直接接続する(≒P11)とき以外は、市販のLANケーブルを使用しないでください。

- ①[LAN]ポートの各線材は、下記の接続例を参考にして、ご用意いただいたACプラグの端子に接続してから、ACコンセントに接続してください。
- ②LANケーブルのプラグを差し込んで、図の方向に回して固定します。



5

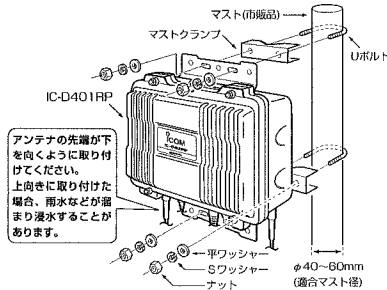
6

■ 本体を固定するには

本製品と接続された電源コードやLANケーブルは、人体に触れるおそれのない場所に固定してください。
※設置後、接続部分が引っ張られても大丈夫のように、電源コードやLANケーブルは、少したるませた状態にしてください。

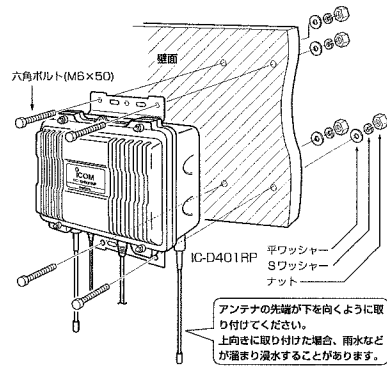
【マストに固定するには】

△警告
次のことを守らないと、火災、感電、故障の原因になります。
マストは、アース工事されていることをご確認ください。
本製品本体がアースされない場合は、付属のアース線を使用して接続してください。(※P5)
△注意
本製品は、適合マスト径(φ40～60mm)以外のマストを使用しないでください。
十分な強度で本製品本体をマストに固定できず、落下して、けが、故障の原因になることがあります。



【壁面に固定するには】

壁面に埋め込まれたナットのピッチが異なる場合は、本製品に付属のボルトを使用しないでください。
※ボルトが壁面に埋め込まれたナットに付属している場合は、そのボルトで本製品を固定してください。



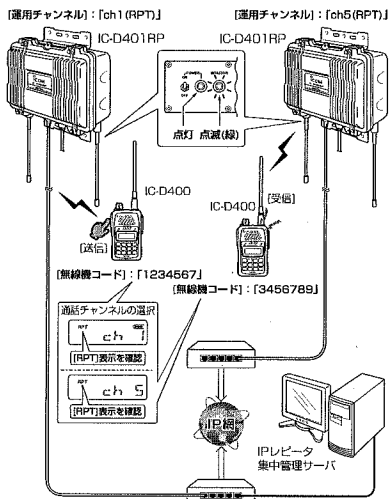
2

通信を確認する 3

■ IP網と接続する場合

次の手順で、本製品との通信を確認します。

- ①本製品と接続された付属のLANケーブルをIP網と接続します。
- ②本製品本体の[POWER(電源)]スイッチを[ON]にします。
 - [POWER(電源)]ランプが点灯します。(※P2)
 - [MONITOR(モニター)]ランプは、電源投入直後から橙色で約5秒間点滅したあとに点灯します。
- ※[MONITOR(モニター)]ランプがいつまでも点滅を繰り返す場合は、IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)の起動していることを確認してください。
- ※稼働中、IPレピータ集中管理サーバとの通信が約30秒以上切断されたときは、[MONITOR(モニター)]ランプが赤色で点灯します。
- ③IC-D400の[通話チャンネル]は、本製品に設定された[運用チャンネル]と同じに設定(例: ch1 (RPT))します。
 - ※IP網の先にある相手との通信を確認するときは、IC-D400の[無線機コード]を相手の[無線機コード]に設定してください。
- ④通信を確認するために、IC-D400を送信状態にします。
 - [MONITOR(モニター)]ランプが緑色で点滅します。

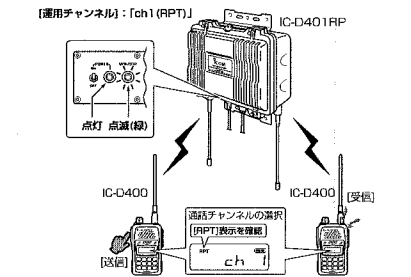


3

■ 1台だけで使用する場合

次の手順で、本製品との通信を確認します。

- ①本製品本体の[POWER(電源)]スイッチを[ON]にします。
 - [POWER(電源)]ランプが点灯します。(※P2)
 - [MONITOR(モニター)]ランプは、電源投入直後から橙色で約5秒間点滅したあとに点灯します。
- ②IC-D400の[通話チャンネル]は、本製品に設定された[運用チャンネル]と同じに設定(例: ch1 (RPT))します。
- ③本製品との通信を確認するために、IC-D400を送信状態にします。
 - [MONITOR(モニター)]ランプが緑色で点滅します。



3 通信を確認する

■ IP網との接続について

本製品をIP網と接続してシステムを構築する場合は、次のことにご注意ください。

また、下記の内容にご不明な点がございましたら、お買上げの販売店にご相談ください。

- ①本製品を出荷時の状態でIP網と接続しないでください。
出荷時の状態で接続すると、既存のネットワーク機器に割り当てられているIPアドレスと重複する可能性があります。
- ②インターネット・プロトコルは、[IPv4]に対応しています。
- ③本製品を1台だけで使用する場合(※P8)は、IP網と接続の必要はありません。
- ④本製品の[LAN]ポートは、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能には対応していません。
本製品を自動判別機能に対応しないHUBやパソコンと接続するときは、極性にご注意ください。
極性を間違えると、通信できません。
- ⑤付属のLANケーブル(20m)は、本製品専用です。
保守・点検などで、本製品をパソコンと直接接続するとき以外は、市販のLANケーブルを使用しないでください。
※保守・点検などで、本製品とパソコンを直接接続するときは、クロスタイプのLANケーブル(市販品)をご用意ください。
パソコンの[LAN]ポートがMDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応している場合は、付属のLANケーブルでも使用できます。
- ⑥本製品とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大長制限(100m)を超えないよう場所に設置してください。
※ご使用LANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなることがあります。
- ⑦IEEE802.3af対応のHUBやSA-3(※P12)と接続するときは、付属のAC電源コードを接続する必要はありません。
- ⑧本製品に電源を供給した直後は、[MONITOR(モニター)]ランプが点滅(約5秒間)します。
[MONITOR(モニター)]ランプがいつまでも橙色で点滅を繰り返す場合は、下記のことを確認してください。
※本製品のIPアドレスをDHCPサーバから自動取得できるように設定して使用している場合は、本製品とLANケーブルの接続、およびDHCPサーバの状態を確認してから、本製品の電源を入れなおしてください。
※固定IPアドレスを使用する場合は、本製品の[IPアドレス自動取得]を[OFF]に設定してください。
※IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が起動していることを確認してください。
- ⑨[ネットワーク音声通信モード](IP網で使用するための設定)で使用している場合は、IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)との通信が途中で切れると、本製品の[MONITOR(モニター)]ランプが赤色で点灯します。
IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が起動していること、本製品に設定されたサーバ(IPアドレス)に間違いがないことを確認してから、本製品の電源を入れなおしてください。
本製品をIP網と接続しない場合は、[ネットワーク音声通信モード]を[OFF]に設定してください。

■ 周波数一覧表

本製品の各運用チャンネルには、下記の周波数が割り当てされています。

使用チャネル 宛先番号	送信 時間	受信 時間	使用チャネル 宛先番号	送信 時間	受信 時間
RPT ch 1	440.0250	421.5750	RPT ch15	440.2000	421.7500
RPT ch 2	440.0375	421.5875	RPT ch16	440.2125	421.7625
RPT ch 3	440.0500	421.6000	RPT ch17	440.2250	421.7750
RPT ch 4	440.0625	421.6125	RPT ch18	440.2375	421.7875
RPT ch 5	440.0750	421.6250	RPT ch19	440.2500	421.8000
RPT ch 6	440.0875	421.6375	RPT ch20	440.2500	421.8250
RPT ch 7	440.1000	421.6500	RPT ch21	440.2875	421.8375
RPT ch 8	440.1125	421.6625	RPT ch22	440.3000	421.8500
RPT ch 9	440.1250	421.6750	RPT ch23	440.3125	421.8625
RPT ch10	440.1375	421.6875	RPT ch24	440.3250	421.8750
RPT ch11	440.1500	421.7000	RPT ch25	440.3375	421.8875
RPT ch12	440.1625	421.7125	RPT ch26	440.3500	421.9000
RPT ch13	440.1750	421.7250	RPT ch27	440.3625	421.9125
RPT ch14	440.1875	421.7375			

■出荷時の設定について

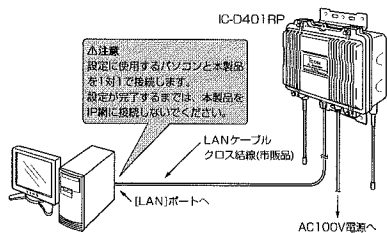
本製品を設定するときは、下記のようにパソコンと接続します。
本製品の設定や初期化には、専用ソフトウェアが必要です。お買上げの
販売店にご依頼ください。

※出荷時のIPアドレスは、「192.168.0.11」に設定されています。

設定に使用するパソコンのIPアドレスは、固定IPアドレス(例：192.168.0.100)に設定してから本製品に接続してください。

※本製品のLANポートがMDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していない場合は、クロスケーブル(市販品)をご使用ください。

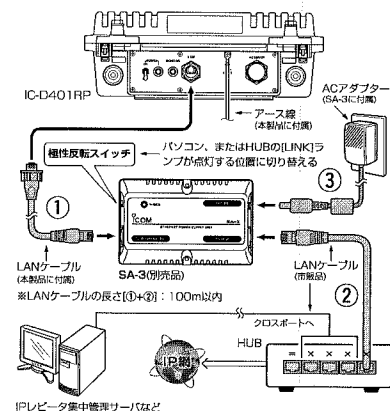
※初期化したときや本製品を1台だけで使用する(P8)のように設定したときは、本製品を既存のIP網に接続しないでください。



■ SA-3と本製品の接続について

SA-3(別売品)を使用して、本製品に電源を供給する接続方法について説明します。

下記の図に示す番号の順に接続後、SA-3の[POWER]ランプが点滅から点灯状態に切り替わらないときは、手順①で接続したLANケーブルを確認してください。



【SA-3を使用するときのご注意】

- Q1-3のSA-3で電源供給ができるのは、本製品1台だけです。
Q1C-D4011Pに付属のAC電源コードは必要ありません。
QSA-3には、電源が必要ですので、コンセントが近い場所に設置してください。
QSA-3は、HUBなどのネットワーク機器とは異なり、レシーバ機能は搭載されていません。
したがって、SA-3についてもLANケーブルの一部として、Ethernet規格の最大伝長(100m)に達しますのでご注意ください。
※ネットワーク環境によっては、Ethernet規格の最大伝長制限より短くなる場合があります。
QSA-3は、防水構造ではありませんので、雨などでもぬれやすい場所には設置できません。
QSA-3との接続は、Q1C-D4011Pに付属のLANケーブルをご使用ください。
LANケーブルを接続後、SA-3のACアダプタを接続ししてから、SA-3の[POWER]ランプが点灯に切り替わる(起動する)まで、約10~15秒かかることがあります。

■故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 修理を依頼されるとき

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも具合の悪いときは、次の処置をしてください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

お買い上げの販売店にご連絡ください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 弊社製品のお問い合わせ先について

お問い合わせいただきました弊社製品の技術サポートなどご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

連絡先: アイコム株式会社
サポートセンター
06-6792-4949(平日 9:00~12:00、13:00~17:00)
電子メール: support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ: <http://www.icom.co.jp/>

弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」をご覧ください。

商品質がテーマです。

